

金沢大学基金
2025年度
活動報告書

Kanazawa University
Fund Report

A photograph of two men standing side-by-side in front of a wall made of light-colored wood panels. The wall is decorated with numerous rectangular panels in blue, orange, and dark blue, arranged in a staggered pattern. The man on the left is wearing a dark blue suit, a white shirt, and a red patterned tie. The man on the right is wearing a grey suit, a white shirt, and a red patterned tie, and is wearing glasses. Both men are smiling slightly.

金沢大学長
和田 隆志

金沢大学理事・副学長
(基金担当)
谷内江 昭宏

大海一滴乃水

日頃より金沢大学の歩みを見守り、応援してくださる皆さまのお気持ち、私たちにとって何よりの励みとなっております。皆さまお一人お一人のご支援があつてこそ、本学は今日まで歩み続けることができました。

感謝を力に、復興と未来創造へ

令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨からの復旧・復興の歩みは、今なお続いています。被災地に立地する国立大学として、金沢大学は、被災された方々に寄り添いながら、教育・研究・医療・地域連携など、総合大学としての知見と力を結集し、地域の再生と未来の創造に取り組んでまいりました。

困難な時にこそ寄せられる温かいお気持ちに、大学としての責任の重さを改めて感じております。

160余年の歴史を礎に、新たな価値を生み出す大学へ

金沢大学は令和の時代に至るまで前身校から160有余年という長い歴史と伝統を持つ総合大学、研究大学です。文化の薫り高い学都金沢とその地の人々に育まれて発展してまいりました。皆さまの温かいご理解とご協力を賜りながら、優れた先人が築いてきた様々な実績を礎に、国際社会の中核的リーダー人材の輩出、独創性の高い世界トップレベルの研究を展開しています。今後もオール金沢大学で、未来の課題を探索し克服する知恵「未来知」により、社会貢献を果たすことを目指してまいります。

皆さまのご支援が、学生と社会の未来を支えています

2008年に設立された「金沢大学基金」は、皆さまの善意によって育まれ続けています。

お寄せいただいたご寄附は、一つひとつが学生たちの未来を照らす光となっています。修学環境の充実、経済的な困難を抱える学生への支援、国際交流の推進、課外活動の充実、そして被災学生・地域への支援事業まで、皆さまのお心遣いが様々な形で学生たちの成長を支えています。これらのご支援は、まさに学生と社会の未来への投資であり、大学経営の重要な基盤となっております。

信頼に応え、次の一歩へ

2025年度も、金沢大学基金には、同窓生、保護者、地域の皆さま、企業・団体の皆さまをはじめ、多くの方々から温かいご支援を賜りました。能登復興未来創造基金をはじめ、学生支援、研究支援、大学全体の発展に向けた取組に対し、継続してお力添えをいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

皆さまからのご支援には、金沢大学への信頼と、未来への期待が込められています。その思いを真摯に受け止め、教職員一同、学生とともに、地域とともに、そして社会とともに歩む大学として、さらなる発展に努めてまいります。

どうか引き続き、金沢大学の歩みを温かく見守り、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。皆さまお一人お一人のご厚情に、改めて深く御礼申し上げます。

金沢大学長

和田隆志

ご寄附への感謝

令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨に際しましては、本学の同窓生をはじめ、日本全国、世界各国の皆様から多くのご支援を賜りました。改めて深く感謝申し上げます。

皆様からいただきましたご支援により、被災した学生たちは本学での学びを継続することができ、充実した学生生活を送るための支えを得ることができております。また、本学が推進する被災地の復旧・復興、そして未来の創造に向けたプロジェクト等にも、有効に活用させていただいております。

さらに、奨学金事業をはじめ、学生支援、キャンパス環境の整備など、本学の様々な活動において、皆様からのご支援は欠かすことのできない重要な財源となっております。

本学では、金沢大学を将来にわたり支える確固たる財政基盤の構築に向け、寄附募集活動の強化とあわせて、基金の適切な管理・運用にも取り組んでおります。2025年度からは、基金の一部について

専門機関への委託運用を開始し、将来に向けた安定的かつ持続的な基金運営の実現に向け、新たな一歩を踏み出しました。

欧米の大学に見られる大規模な基金も、数十年にわたる継続的な寄附募集活動と、適切な資金運用の積み重ねによって築かれてきたものです。本学におきましても、皆様からお寄せいただいたご厚志を大切に活かしながら、教育・研究・社会貢献のさらなる発展につなげてまいります。

引き続き、金沢大学の歩みに温かいご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

金沢大学理事・副学長（基金担当）

谷内江 昭宏

2025年度金沢大学基金へのご寄附

金沢大学基金にあたたかなご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

皆様から賜りましたご寄附は修学支援、留学支援、若手研究者支援、課外活動支援、及び令和6年能登半島地震の復旧・復興にかかる事業など、様々な事業に有効に活用させていただいております。

金沢大学基金へのご支援累計（2008年度～2025年度）

累計総額 **25億7245万537円**

累計総件数 **18,244件**

2025年度のご寄附

累計総額 **2億5320万5317円**

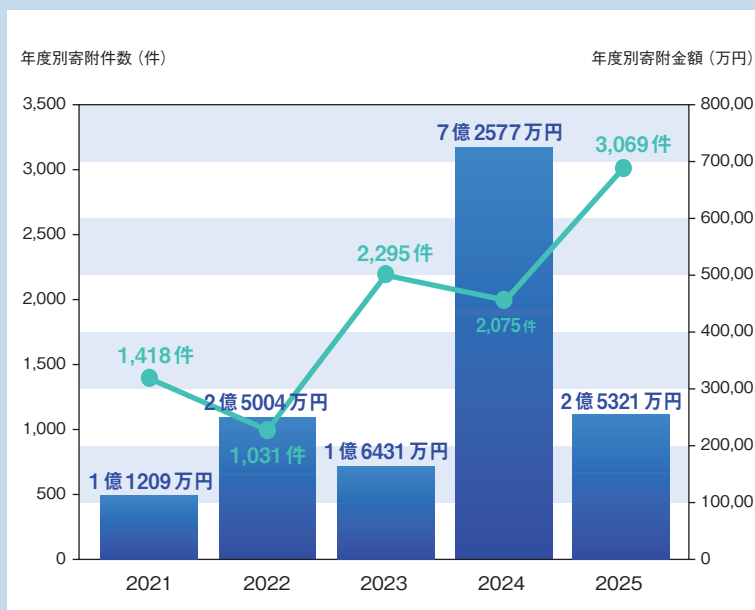
累計総件数 **3,069件**

2025年度金沢大学基金実績報告

●寄附者別受入額

卒業生・修了者	868件	63,544,313円
学生、学生の父母等	965件	28,923,415円
教職員・退職教職員	150件	12,018,396円
一般・その他	1,003件	78,687,090円
法人・団体	76件	68,658,705円
運用益	7件	1,373,398円

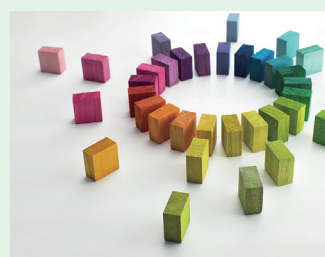
●過去5年の寄附受入推移



Topics

未来に向けて、基金を育てる長期運用を開始しました

2025年度より、皆様からお寄せいただいたご寄附を将来にわたり安定的かつ効果的に活用していくため、基金残高の4億円について、専門機関への委託運用を開始しました。なお、2025年度末時点における委託運用分の評価損益率は△3.18%となりました。これは年度末時点の時価評価に基づくものであり、運用開始初年度における短期的な市場環境の影響を受けたものです。運用にあたっては、学内規程等に基づき、安全性・流動性・収益性のバランスに留意しながら、教育・研究・学生支援等の充実に資する基金運営を進めてまいります。



金沢大学基金へのご寄附の種類

全学に対するご寄附

01 大学基金

学生修学支援、教育・研究環境の向上、国際交流活動、地域・社会貢献活動など幅広く大学全般への支援に活用いたします。

2025年度 ご支援件数 **766件** ご支援金額 **164,498,597円**



02 能登復興未来創造基金 ※令和7年1月に「被災学生・施設支援等基金」から名称を変更しました。

令和6年能登半島地震等により被災した地域の復旧・復興と再建、継続的發展に係るプロジェクト、及び被災した学生に対する支援に活用いたします。

2025年度 ご支援件数 **177件** ご支援金額 **12,082,000円**



03 修学支援基金 ※優遇性の高い税額控除が適用できます。

経済的な理由により修学が困難な学生の学ぶ意欲に対する支援として活用いたします。

2025年度 ご支援件数 **126件** ご支援金額 **5,278,858円**



04 研究等支援基金 ※優遇性の高い税額控除が適用できます。

博士号を取得しながらも、安定的に従事する職が得られていない若手研究者及び学生の能力向上などに対する支援に活用いたします。

2025年度 ご支援件数 **92件** ご支援金額 **5,350,000円**



05 未来“響創”基金

我が国と世界の課題解決を担う“真の国際人”の育成等の事業に活用いたします。

2025年度 ご支援件数 **6件** ご支援金額 **4,055,000円**



06 課外活動振興基金（登録団体21団体）

全学公認課外活動団体の活動環境の改善及び活動支援に活用いたします。

2025年度 ご支援件数 **654件** ご支援金額 **15,817,247円**



07 特定の部局・事業へのご寄附

2025年度 ご支援件数 **1,248件** ご支援金額 **46,123,615円**



※不動産・有価証券等受入基金は2025年度の受入はありませんでした。

金沢大学基金へのご寄附の種類

特定の部局やプロジェクトへの支援

1 ロースクール基金（実施部局：法学研究科）

2025年度実績 5件 121,000円

地域に根ざした法曹の育成支援のために、学生が安心して学び、成長できる環境を提供する事業に活用いたします。

2 法学研究科・特別選抜留学生支援基金 （実施部局：法学研究科）

2025年度実績 3件 110,000円

日本法教育研究センター（ベトナム、カンボジア、モンゴル、ウズベキスタン）の修了者に対する奨学金に活用いたします。

3 理学・工学系博士人材育成応援基金 （実施部局：自然科学研究科）

2025年度実績 21件 5,425,000円

自然科学研究科における未来を切り拓く博士人材を育てる取り組みに活用いたします。

4 附属病院支援基金（実施部局：附属病院）

2025年度実績 51件 10,868,000円

地域の医療に対しこれまで果たしてきた役割と機能を今後も維持し、将来にわたって医学の発展と医療人の育成を継続するための事業に活用いたします。

5 未来のがん研究者を育てる基金 （実施部局：がん進展制御研究所）

2025年度実績 17件 2,382,000円

高校生を対象とした「がん研究早期体験プログラム（がん研究 Early Exposure Program：がん研EEP）」の運営経費、研究環境整備費に活用いたします。

6 図書館時習基金（実施部局：附属図書館）

2025年度実績 10件 193,815円

本学附属図書館の所蔵資料の保存修復及び貴重資料のデジタルアーカイブ化や設備の整備・充実に活用いたします。

7 附属学校園教育活動支援基金 （実施部局：人間社会学域学校教育学類附属学校園）

2025年度実績 458件 14,501,800円

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校及び附属学校園全体の教育環境等の整備に活用いたします。

8 ダイバーシティ推進“はあぞみ基金” （実施部局：ダイバーシティ推進機構）

2025年度実績 17件 603,000円

女性研究者のキャリア支援、次世代の女性研究者育成、ワークライフバランスのための環境整備、障がい者支援、外国人教職員のための生活支援、LGBTQ+ 支援に活用いたします。

9 融合学域FIRe 基金 （未来創造イノベーション人材創出・地域定着基金）（実施部局：融合学域）

2025年度実績 2件 20,000円

観光関連産業をはじめとする地域の産業創出を担い、地方創生を牽引するイノベーション人材を養成し、北陸地域への定着を推進する事業に活用いたします。2025年12月設置!

10 ウクライナ等海外緊急支援基金 （実施部局：先端科学・社会共創推進機構）

2025年度実績 2件 105,000円

ウクライナから招聘する研究者・留学生に対する渡航費用や生活基盤形成のために活用いたします。

※現在は募集を終了しております。

※地域未来人材育成支援”TO THE FUTURE 基金”は2025年度受入実績がありませんでした。

クラウドファンディングに対するご寄附

金沢大学は、学生や教員が企画するプロジェクトの資金調達手段の一つとしてクラウドファンディングを積極的に活用しています。2025年4月からは株式会社READYFORが提供する大学向けプログラム「READYFOR College」と提携し、さらに大学として強化を図っています。

2025年度 **3件募集 3件成立**

760人の支援者様から、**11,797,000**円のご支援をいただきました!! 多くのご支援、誠にありがとうございました!!

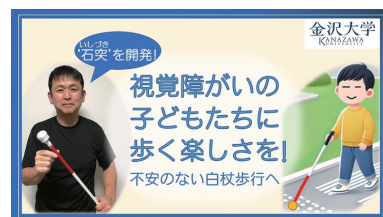
[実施プロジェクト]

2025年2月17日～4月17日

‘新開発の石突’を全国の盲学校の子どもたちに使ってもらいたい

●実施者：附属特別支援学校 教諭 吉岡学

支援総額 **5,093,000**円 (目標金額：4,500,000円) 支援者数 **322**人



2025年5月7日～7月5日

石川の想いを背負い、いざ‘神宮’へ

●実施者：硬式野球部

支援総額 **2,251,000**円 (目標金額：2,000,000円) 支援者数 **91**人



2025年9月2日～10月30日

マラリアで奪われる命をゼロにする! 日本発ワクチンの挑戦

●実施者：薬学系 助教 山本祐太郎

支援総額 **4,453,000**円 (目標金額：1,500,000円) 支援者数 **347**人



Topics

多様な寄附方法をご用意しています

新たな研究者支援プラットフォームを導入しました
スマホひとつで研究者へ手軽に寄附ができる「iDonate」



iDonateでのご寄附はこちらから



金沢大学は、研究者の研究・教育活動をより推進することを目的として、研究者支援の新たな寄附システム「iDonate (アイドネイト)」を全国に先駆けて導入しました。このシステムは、金沢大学の教員が代表理事を務める一般社団法人全国学術情報分析支援機構 (iSess) が提供する仕組みを利用するものです。寄附者は、寄附したい研究者の2次元コードを読み取ることで、指定した研究者に寄附することができ、自身が興味を持った研究者に対して、いつでも、どこでも気軽に寄附ができます。

<https://www.idonate-all.jp/university/view/105002>

ふるさと納税で金沢大学を応援!
金沢版ふるさと納税制度活用大学寄附金



詳細はこちらから



2025年10月より、金沢市へのふるさと納税で金沢大学を応援できるようになりました。金沢市のふるさと納税制度の中に、「金沢版ふるさと納税制度活用大学寄附金」が創設されました。これは関係人口の創出・拡大と文化を担う人づくりを推進するために創設された制度です。金沢大学を含む金沢市内の登録大学の支援を行うことができます。なお、ふるさと納税による支援のため、税の控除を受けることができますが、返礼品はありませんのであらかじめご了承ください。

https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/chiikiriyokusaiseika/gyomuannai/1_1/new/29949.html

支援実績

学生の国際交流を支援

金沢大学では、学生の国際交流・海外留学、留学生受入への積極的な支援を実施しております。

スタディアブロード奨学金 (在籍延長支援枠)

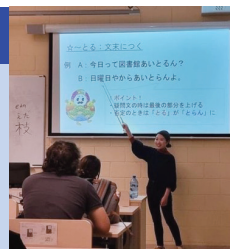
留学により標準修業年限を越えた
学生に対する給付型奨学金

2025年度支援人数

51名

支援を受けた学生からの感謝の声

私は、ポーランドのワルシャワ大学に1年間留学し、関心を持っていた外交政策やポピュリズムに関する授業を履修しました。現地での学びを通じて、ポーランドの難民・移民政策についてさらに深く知りたいと思うようになり、その関心は卒業論文のテーマにもつながりました。また、現地で日本語を学ぶ学生のクラスにおいてアシスタントティーチャーを務めたことで、日本語教育への関心も大きく広がりました。この経験がきっかけとなり、さらに学びを深めたいとの思いから、大学院への進学を決意しました。留学で得た経験は、私の学びの方向性や将来の進路に大きな影響を与えてくれました。もし奨学金によるご支援がなければ、留学に踏み出すことは難しかったと思います。皆様の温かいご支援により、自分自身の可能性を広げる貴重な機会をいただくことができました。心より感謝申し上げます。



人間社会環境研究科
博士前期課程1年
志貴 一内

スタディアブロード奨学金 (学域・大学院派遣枠)

日本人学生の海外留学に対する
現地滞在費等の支援

2025年度支援人数

135名

支援を受けた学生からの感謝の声

このたびは、大学基金を通じて温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。皆様のご支援により、インドネシアで実施されたハサヌディン大学サマープログラムに参加することができました。研修では、スラウェシ島の自然や文化について講義を通じて学んだうえで、ジオパークの訪問や現地の踊りの体験など、実際に現地の文化に触れる貴重な機会をいただきました。こうした経験を通じて、異なる文化や背景を持つ人々を理解し、尊重することの大切さを実感しました。また、さまざまな国籍の学生と交流を深め、現地での生活を経験できたことは、自分自身の考え方や視野を広げる、かけがえのない学びとなりました。今回の研修で得た前向きな刺激を原動力に、今後は語学力の向上をはじめ、日々の学業に一層励んでまいります。そして将来的には、グローバルな視点を持ち、社会に貢献できる人材へと成長していきたいと考えております。このような貴重な機会を与えてくださった皆様に、改めて心より御礼申し上げます。



融合学域先端学類4年
笹山 健翔

スタディ at KU 奨学金

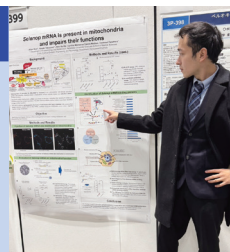
外国人留学生に対する
給付型奨学金の支援

2025年度支援人数

26名

支援を受けた学生からの感謝の声

金沢大学大学院に在籍している間、奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。この奨学金のおかげで、生活面での負担が軽減され、研究により集中して取り組むことができました。研究室のみなさんはとても親切で、国際色豊かな環境の中でいつも助けてくれました。また、在学中に初めて学会に参加する機会をいただき、世界各地から集まった研究者と交流することができ、自分の視野が大きく広がりました。金沢は美しい街で、私はこの街がとても好きになりました。少しでも恩返しをしたいという気持ちから、英語での観光ガイド活動にも参加し、海外からの観光客の方々に金沢の魅力をお伝えしています。金沢大学、そして日本での生活から得たものを大切にしながら、将来もここで学んだことを活かして社会に貢献していきたいと思います。このような機会をいただき、心より感謝申し上げます。



先進予防医学研究科
博士課程4年
AILES NUER

緊急学生支援事業

2020年度より新型コロナウイルス感染症、2023年度より令和6年能登半島地震等の影響により経済的に困窮している学生に対して、安心して勉学に取り組める環境を整えるため、積極的な支援を実施しています。

緊急学生支援金 (2020年度開始)

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
996名	794名	493名	24名	136名	17名

累計支援人数

のべ2,460名

大学院生の研究活動等を支援

金沢大学では、博士人材の育成に向け、大学院生が研究活動等に専念できるよう積極的な支援を実施しています。

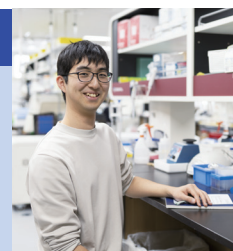
大学院生への奨学金

新学術創成研究科及び法科大学院で
学ぶ大学院生へ給付型奨学金の支援

2025年度支援人数 **のべ38名**

支援を受けた学生からの感謝の声

このたびは、大学基金を通じて温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。皆様のご支援のおかげで、経済的な不安を抱えることなく、日々の研究に専念することができました。私は、生き物の「形」がどのように作られるのかに関心を持ち、発生生物学や材料力学の観点から研究に取り組んでいます。研究を進める中で、器官の形が安定して作られる仕組みの一端を明らかにすることができ、国内外の学会で研究成果を発表する機会にも恵まれました。また、日本学術振興会特別研究員に採用され、研究者としての第一歩を踏み出すことができたと感じています。皆様からいただいたご支援は、私の研究活動を支える大きな力となりました。今後も研究に真摯に向き合い、生命の不思議を明らかにする探究を進めるとともに、将来的には社会の発展にも貢献できる研究者を目指してまいります。改めまして、皆様からの温かいご支援に心より御礼申し上げます。



新学術創成研究科
ナノ生命科学専攻
博士後期課程2年
寺西 亜生

キャンパス環境を整備

支援額：**5,950万円**

学生の修学環境の整備のため、2025年度より3年計画で重点支援を実施しています。2025年度は、総合教育講義棟ラーニングcommons整備、トイレ環境改善プロジェクト、国際交流会館シャワーブースの整備などを実施しました。



総合教育講義棟ラーニングcommons



国際交流会館シャワーブース

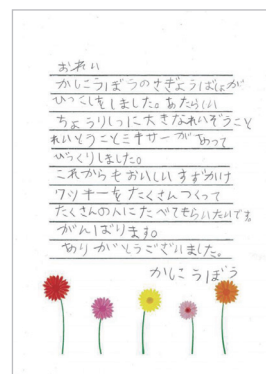
教育・研究環境を整備

支援額：**972万円**

学内の教育・研究環境整備のため、2025年度より新たに整備事業を開始しました。2025年度は、附属図書館の学生用図書、特別支援学校の作業学習設備等を整備するとともに、物価高に対する食の支援事業も実施しました。



特別支援学校菓子工房リニューアル



児童からの御礼の手紙

障がい学生支援事業

支援額：**80万円**

障がいのある学生の修学等支援のため、カウンセラーの配置等を実施しています。

金沢大学能登復興未来創造基金

受入実績 (2024年1月15日～2026年3月31日)

受入件数

1,510件

受入金額

1億8,666万5,474円

金沢大学は、令和6年能登半島地震の発災後、被災した学生への支援、被災した能登地域の施設の復旧、そして能登地域の復旧・復興支援のために、2024年1月15日に「金沢大学被災学生・施設支援等基金」を立ち上げました。(2025年1月1日より「金沢大学能登復興未来創造基金」へ名称変更)

基金立ち上げ以降、日本国内、世界各国の多くの皆様からご支援を賜りました。頂いたご寄附は、被災した学生への奨学金、能登地域に所在する本学の施設の復旧を始め、能登地域への学生ボランティア派遣、被災地の創造的復興に資する研究プロジェクト等に活用しております。

支援実績

●のと未来創造学生プロジェクト

支援総額 109万円 (2025年度開始)

能登の創造的復興に向けて主体的に活動する学生をサポートする「のと未来創造学生プロジェクト」を開始し、2025年度は10プロジェクトを採択・支援しました。

プロジェクト例：

[祭礼衣装で明かりを灯す ～ DoTeRa recover ～]

震災以降、被災して使われなくなった祭礼衣装「ドテラ」を通して、地域の祭りの衣装文化を次世代に繋いでいくことを目的としたプロジェクトです。キリコ祭りでドテラを着用する地域みなさんにたくさんのお話を伺いました。

[服幸のとどけもの]

能登半島地震で被災した地域子どもたちが、楽しみながら参加し、思い出の品を持ち帰ることができるイベントを企画・運営することを目的としたプロジェクト。服にプリントするシルクスクリーン教室を珠洲、輪島の小中学校を中心に7箇所で開催しました。



●被災施設の復旧事業

支援金額 205万円

能登地域に所在する本学施設の復旧事業に充当しました。

●被災地域へのボランティア活動支援

100万円

金沢大学ボランティアさぼーとステーション(ボラさぼ)を中心とした有志の学生と教職員によるボランティア活動への支援経費に充当しています。発災以降、大学としてのべ2,222の学生(2026.3.31時点)を被災地へ派遣し、現地で様々なボランティア活動を行っています。

Topics

課外活動団体を支援するチャリティイベント「Giving Campaign 2025」で全国2位!

株式会社 Alumnote が開催するチャリティイベント「Giving Campaign 2025」で、金沢大学が過去最高の成績を収めました。このイベントは、日本最大級の“学生による”資金調達イベントと銘打って実施され、全国から110の大学が参加しました。金沢大学からは課外活動等の団体46団体が参加し、全国各地から多くの支援を集めました。

2026年は10月16日(金)～25日(日)の日程で開催され、金沢大学も参加します。

応援者数

18,342名(全国2位)

寄附金額

4,151,673円(全国4位)



被災した学生への奨学金

令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨に被災した学生に対し、給付型奨学金を支給しました。

2025年度 支給人数 **13名** (累計100名)

支給金額 **205万円** (累計2,500万円)

2025年度新たに支援を受けた学生の声

震災により住んでいた家を失いました。経済的に厳しい中、金沢大学へ進学したのは、知的財産法と国際法について学び、将来、能登を含む日本の過疎地域の伝統工芸を未来に受け継ぐようなことをしたいと考えたからです。自らが奨学金受給者であるということを自覚し、将来は能登の「創造的復興」に貢献できるような人材になることを目標に、大学生生活を充実させていきたいです。

(理工学域地球社会基盤学類 Aさん)

震災により、停電、断水の日々が続く中で、私は将来、一級建築士として、被災した地元のような地域の復興に、建築・設計の面から貢献したいと考えようになりました。皆さまのご支援を力に、建築と防災を学び、災害に強く、人々が安心して暮らせるまちづくりに携わる力を身につけていきたいです。

(理工学域地球社会基盤学類 Bさん)

被災の経験を通し、非常時における安定したエネルギー供給の重要性を改めて知りました。有機太陽電池の研究を通じて、次世代エネルギー技術の発展に貢献したいと考えています。皆さまのご支援を力に、将来は災害時の自立電源やドローンへの活用を通じ、災害に強く持続可能な地域社会の実現に貢献していきたいです。

(自然科学研究科 Cさん)



ご支援ありがとう
ございました!



2025年度卒業した学生たちからの感謝の声

自宅が半壊の被害を受け、家計にとって大きな負担となりましたが、皆様の支援のおかげで心置き無く勉学に励むことができ、4月から公務員として働くことができることとなりました。この御恩を忘れず、いつか誰かに返すことが出来るように、これからの人生を歩んでいきたいと思います。

(人間社会学域法学類 Dさん)

震災から2年が過ぎた今でも、発災時の衝撃や無力感は強く記憶に残っています。日々のふとした瞬間にそれらの思いがよみがえり、悔しさと後ろめたさを感じることも少なくありません。被災により金銭的に苦しい状況に置かれていましたが、支援のおかげで心身の健康を保ったまま、卒業を迎えることができました。このように安心して学業に励み、医療人としての第一歩を踏み出すことができたのは、温かいご支援のおかげです。

(医薬保健学域保健学類 Eさん)

被災により不安を感じることもありましたが、被災学生を支援しようという皆様の温かいお気持ちに支えられ、学業に専念することができました。そのおかげで、無事に卒業を迎えることができましたことを心より感謝申し上げます。在学中は資格の取得や学会の発表など、専門性と研究スキルを養うことができました。これらの経験を通して、支えてくださる方々の存在の大きさを改めて実感いたしました。医療スタッフとして医療の現場に携わります。患者さんに安心して検査を受けていただけるよう、正確で安全な医療を支える医療人として成長するとともに、研究を続けることで医療の発展に貢献できるよう努力してまいります。改めまして、この度の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

(医薬保健学総合研究科 Fさん)

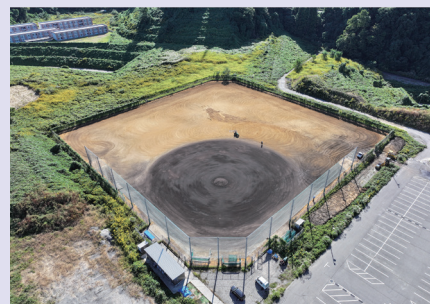
Topics

課外活動団体を支援

金沢大学では、Giving Campaign2025を始め、多くの方から頂いたご寄附を活用し、全学公認課外活動団体の活動環境の充実のために、環境整備や活動支援を行っています。

2025年度支援実績

ヨット艇庫新営、ヨットセール購入(ヨット部)、北部テニスコート張替(テニス部)、グラウンド修繕(硬式野球部)、飼料(馬術部)、ピアノ調律(ピアノの会)、遠征バス借上、試合球、練習用品、立奏台、キーボード



寄附者様への謝意・特典

金沢大学基金へご寄附いただきました方へ、感謝の意をこめて、謝意・特典をご用意しております。

特別芳名板（2025年10月設置）

金沢大学基金にご寄附いただきました皆様へ、より感謝の意を表するため、2025年度より新たな特別芳名板を導入しました。寄附者の皆様のお気持ちを未来へ繋いでいくため、ご自身の自筆等でご芳名を記すことができます。

	個人	法人・団体
ブラックダイヤモンド	1億円以上	5億円以上
ゴールド	5,000万円以上	1億円以上
シルバー	1,000万円以上	5,000万円以上
ブロンズ	500万円以上	1,000万円以上



芳名板への掲示

ご寄附をいただいた皆様のご芳名を角間キャンパス内2ヶ所の芳名板に刻み、末永く顕彰させていただきます。

※希望されない場合は掲示いたしません。



感謝状の贈呈

累計で一定の寄附金額の都度、感謝状を贈呈させていただきます。

【感謝状の贈呈金額】

個人のご寄附	20万円以上
法人・団体のご寄附	100万円以上



返礼品の贈呈

一定の額以上の寄附をされた方には、金沢大学オリジナルグッズを返礼品としてお贈りいたします。



つむギフト（特別返礼記念品）

2025年1月より新たな特別返礼記念品制度「つむギフト」を開始しました。この名称には、寄附者の皆様と金沢大学、金沢大学と地域、そして地域と寄附者の皆様、この三者のつながりが紡ぎ合わさるきっかけになってほしいとの願いを込めています。特別返礼記念品には「学生への教育や研究によって生まれた品物」「金沢大学の同窓生が携わる品物」や「能登への支援につながる品物」をご用意しております。本学はもちろん、同窓生や地域の皆様との絆も「つむいで」いただければ幸いです。



● 記念品の一例

ご寄附額：2万円以上5万円未満



特別支援学校クッキー
&メッセージカード

グアテマラ有機コーヒー
～マヤ文明の研究等
により誕生～



ご寄附額：5万円以上10万円未満



百草紅茶
- Momokusa Tea -

同窓生が起業した
ベンチャー企業の紅茶セット

金沢大学のクラフトビール
「カナエール」



ご寄附額：10万円以上



金沢大学
オリジナル日本酒「志」

同窓生が経営する企業
「加賀でまり毬屋」



感謝の会へのご招待（2025年度から新たに実施）

一定金額以上のご寄附をお寄せいただいた皆様へ感謝の意を直接お伝えするため、2025年度より「感謝の会」を開始しました。本学教職員や学生が、教育・研究の現在と未来をご報告し、心よりの感謝を直接お伝えいたします。ご寄附がどのように学生や研究の力となっているのかを、直接ご確認いただける機会です。

参加者の声

これまで報告書を通してしか分からなかった金沢大学の活動を体感することができた。
支援を受けた学生の生の声を聞くことができ、自分の寄附が役立っていると感じられた。
被災した学生やボランティア活動を行った学生の報告を聞くことができ感動した。



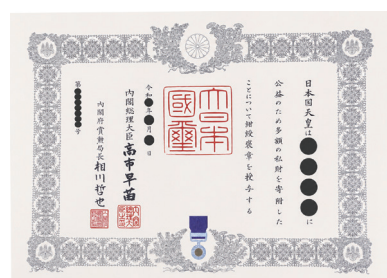
紺綬褒章の推薦

金沢大学は、内閣府賞勲局より、公益のために私財を寄附された個人・団体に授与される「紺綬褒章」の公益団体の認定を受けています。金沢大学基金にご寄附いただき、「紺綬褒章」の推薦要件に合致している方（受章されるご意思をお持ちなど）について、本学から文部科学省に推薦させていただきます。

【紺綬褒章の推薦状況】

個人のご寄附	500万円以上
法人・団体のご寄附	1,000万円以上

※分割でのご寄附も対象となります。



画像出典：内閣府 褒章の種類及び授与対象

税制上の優遇措置

金沢大学への寄附は、確定申告をしていただくと税制上の優遇措置を受けることができます。

個人の方

- 寄附金控除には、「所得控除」と「税額控除」の二つの方法があります。
- 金沢大学基金への寄附は、寄附目的に関わらず、所得控除が適用されます。
- 「修学支援基金」、「研究等支援基金」への寄附は、所得控除又は税額控除のうち、有利な方を選択して控除を受けることができます。
- 金沢大学が発行する寄附金領収証明書を添付して確定申告をしてください。

所得控除

寄附金額から2,000円引いた額を所得金額から控除
寄附金額※1 - 2,000円 ⇒ 寄附金の所得控除額※2

※1 年間の寄附金の合計額が年間の総所得額等の40%を超える場合は、40%に相当する額が限度となります。

※2 所得控除を行った後に各寄附者の所得に応じた税率を乗じて、所得税額を算出します。

※3 所得税額の25%が限度となります。

税額控除

各寄附者の所得税率に関係なく、所得税額から直接寄附金額の一定割合を控除
(寄附金額※1 - 2,000円) × 40% ⇒ 所得税額から除額※3

例示（一般的には、税額控除のほうが所得控除より多くの控除効果が期待できます。）

年収500万円（所得税率10%として） の方が5万円を寄附した場合の控除額	所得控除 (50,000円 - 2,000円) × 10% = 4,800円 税額控除 (50,000円 - 2,000円) × 40% = 19,200円
--	---

- 石川県内在住者は、石川県や県内市町の個人住民税の控除を受けることができます。なお、所得税の確定申告を行う方は申告の必要はありません。

法人の方

- 寄附金の全額が損金算入できます。

詳細はこちらをご覧ください

<https://kikin.adm.kanazawa-u.ac.jp/kikin/tax/>



ご寄附の方法

専用の払込票からのご寄附

全国の金融機関でお振込いただけます

ゆうちょ銀行

北陸銀行

北國銀行

上記の窓口から振込いただければ、手数料は基金が負担し無料となります。

基金・学友支援室でのご寄附

現金

事前にご連絡のうえ、本部棟5階へ直接お越しください。

Webサイトからのご寄附

クレジットカード



インターネット
バンキング (ペイジー)



コンビニ振込 (受付後、専用払込票を送付します)

金沢大学基金 Web サイト▶

<https://kikin.adm.kanazawa-u.ac.jp/kikin/>



不動産、株式等の現金以外によるご寄附

株式・社債・国債などの有価証券、土地・建物の不動産等の現金以外の現物財産による寄附を受け賜っております。通常、寄附者にはみなし譲渡所得税がかかりますが、本学に対する寄附については非課税措置が受けられます。

※ご寄附に当たり特段のご意向がおありの場合や、寄附物件によっては大学としてお受けできない場合も考えられますので、受け入れに当たっては個別にご相談させていただきます。

金沢大学は、あなたの思いを大切に未来へ生かします。

遺言により、ご自身の築き上げられた財産を特定の人物や団体の方々に寄附することを遺贈といいます。母校の発展、未来を託す人材の育成、社会への貢献など、あなたの思いを未来へつなぎ、その思いが新しい時代を切り開き、花を咲かせる、遺贈を通じてあなたの思いを次の世代に託しませんか。金沢大学は、あなたの思いを大切に未来へ生かします。金沢大学へ遺贈によるご寄附をお考えいただいている方のために、高度な専門性と豊富な経験を有する銀行、信託銀行等と提携し、その手続きの便宜をはかります。

遺言による寄附

信託を活用した
遺贈・寄附

相続財産からの寄附

詳細はこちらをご覧ください▶

<https://kikin.adm.kanazawa-u.ac.jp/kikin/guide/index.html#head5>



遺贈によるご寄附の利用を希望される方は、金沢大学基金・学友支援室、または提携の銀行、信託銀行等へお気軽にお問い合わせください。

●金沢大学基金が提携している銀行・信託銀行等

北陸銀行

北國銀行

みずほ信託銀行

三井住友信託銀行

レディーフォー遺贈寄付
サポート窓口

税制上の優遇措置

金沢大学基金に遺贈またはご寄附いただいた財産には相続税が課税されません。

ご本人様のご意思を尊重するのはもちろん、残されたご遺族にもご負担をかけず、安心してお気持ちを遺すことができます。

●遺贈寄附を決めた方の声 (個人を特定できないよう内容の一部を変更しております)

Aさん

亡くなった父が金大の卒業生でした。家族でも旅行した能登での地震に心を痛めていました。能登半島地震で被災した学生さんや復興プロジェクトの支援に使ってもらえたらと思い、相続した遺産を寄附することに決めました。

Bさん

子供の頃病気がちでしたが、先生方のおかげで元気になることができました。同じように病気に苦しむ子どもたちが一人でも少なくなればと、遺贈を思い立ちました。子どもたちの病気の研究にぜひ使って頂きたいです。



金沢大学基金寄附者ご芳名録 (2025年4月1日～2026年3月31日)

金沢大学能登復興未来創造基金 (2025年度)

相島 美登里	岡崎 哲也	駒崎 絢音	玉田 輝美	西 信子	丸山 英樹	XING YEQING
上濱 陽一郎	岡田 真次	佐伯 正樹	塚本 真知子	西村 志津夫	水落 徹男	金沢工業会東海支部
浅井 岳見	岡村 祐樹	坂川 忠弘	寺屋 信次	苗加 充彦	水野 洋一	株式会社 NewRoots
阿部 昌祥	尾澤 明彦	櫻井 仁	徳力 暁	橋爪 直人	三屋 明弘	株式会社ビルカン
石川 益男	上口 大介	志賀 健彦	鳥居 貴浩	林 健治	宮 亜紀	Watson-Marlow 株式会社
市川 浅子	河原 政裕	澀谷 順子	直江 義弘	平井 久幸	三宅 佳子	
後地 雅士	黒田 奈未子	鈴木 良博	長野 真一	藤野 陽	宮崎 真実	以上のほか、公表を承諾されなかった皆様92件
裏野 祐大	河野 裕太	鈴木 嘉洋	中元 大生	本郷 彰	森 英之	
榎並 正樹	古賀 裕貴	田窪 裕一	夏村 匡	前田 将孝	森井 崇	
大石 敏也	後藤 康志	竹澤 恒敏	鳴神 健	前野 貴志	蓮田 恵理子	
大澤 孝治	小林 智子	田中 祥子	南波 留美子	丸橋 茂男	若林 ひなの	

大学基金・修学支援基金・研究等支援基金・未来“響創”基金 (2025年度)

青木 剛	大竹 茂樹	倉地 正英	達伊 秀子	濱浪 嘉登	三上 雅紀	村田 真介	横本 篤
青木 耕平	大坪 常夫	桑山 雅行	館谷 範匡	林 明秀	水上 隆司	森 恵一	吉田 一心
浅井 岳見	大坪 弓夫	小池 孝則	田所 笑	林 可寿子	南 外至久	森本 章治	吉田 泰介
朝倉 芳夫	大野 英夫	小泉 穂高	田中 俊昭	林 勝哉	南山 広明	森元 良昭	吉田 千香
足立 英彦	大山 徹	小島 しのぶ	田中 秀明	林田 順助	宮尾 芳一	保田 勲	吉田 正美
安孫子 邦夫	岡田 裕二	後藤 幸己	田中 理恵	番匠 泰宏	宮崎 謙治	八十出 浩之	吉原 和代
油野 丸	岡本 修身	後藤 善弘	棚橋 智明	半田 昌良	宮永 達人	山梶 賢昭	四谷 宏治
粟路 賢一	尾川 典子	小林 明	近山 達	東原 琢	宮村 泰兆	山田 延子	米岡 有一郎
安藤 繁	小川 真由子	小林 史正	塚田 修	疋田 光史	宮本 和久	山西 理香	若月 寿恵
安藤 正彦	沖野 安珂	駒崎 絢音	塚本 外茂久	平木 實	宮本 増	山本 公德	若原 敬子
飯島 将司	奥 輝之	小松 英樹	土屋 健太	平野 允	向 茂美	山本 茂	若原 敏夫
五十嵐 定之	奥田 功	小山 春海	寺井 亮三	平山 雄一	村井 薫	山本 隆俊	和田 隆志
井口 真	奥田 友宏	強瀬 俊明	寺崎 修一	弘崎 爾生	村上 俊雄	山本 敏晴	渡井 由起子
池 哲明	奥田 ひとみ	酒井 駿輔	寺屋 信次	廣瀬 潤	村上 嘉子	山本 博男	渡邉 悦子
池田 虎三	奥中 泰征	坂田 昌隆	土井 由果利	深草 栄二	村木 美菜	山本 真澄	渡辺 三弘
池田 良兼	奥村 成智	坂詰 貴司	藤 博貴	藤井 一司	村田 静夫	百合川 友昌	中川 裕介
石原 政和	小山内 俊平	櫻井 弥生	徳島 俊吾	藤井 美香	村田 記	横江 功好	
和泉 里子	押野 登	櫻井 悦行	徳久 芳樹	藤生 克好			
磯野 洋明	尾島 恭子	笹脇 和子	鳥居 貴浩	藤田 正			
伊田 明弘	尾田 利之	佐藤 英樹	中 恵美子	藤田 正晴			
伊藤 恵祐	覚知 泰志	澤田 裕	中川 正明	富士原 裕史	医療法人社団 明徳会		
伊藤 健一	鹿島 正裕	志田 直之	中島 慶子	藤村 和昌	医療法人社団 瑞穂会		
伊藤 隆之	勝海 滋之	柴田 敬子	長田 正文	藤本 将司	GAPPA noto		
伊藤 弘教	加藤 寛二	島崎 志郎	中西 紀夫	藤原 学	金沢大学医学部軟式庭球部		
稻垣 佳典	加藤 晃生	島田 和武	中西 秀則	二口 栄一	金沢大学生協同組合		
稲遣 直美	加藤 孝義	島津 亜紀子	中根 隆	古川 香織	株式会社リハス		
井村 優	加藤 珠子	清水 将世	中野 賢行	本郷 彰	株式会社アロテック		
井村 路子	加藤 徹	清水 廉平	中野 義之	前野 貴志	株式会社センター		
岩上 栄	加藤 央	下出 哲弘	中村 秀雄	牧野 明	株式会社トンゴ飲料		
岩瀬 敏樹	加藤 真揮雄	白石 淑子	中村 仁美	益田 翔太郎	株式会社のうか不動産		
岩田 章	加藤 美佳	白羽 隆宏	中村 至孝	増田 芳隆	株式会社平本組		
上田 博	加藤 陽介	新蔵 一真	中山 宇兵衛	間瀬 真弓	Kインカム株式会社		
上野 健	加藤 嘉彦	菅沼 省吾	永山 善弘	町谷 謙一	一般社団法人金沢大学教育 NewPlatform		
臼田 和生	金子 淳永	杉本 卓洲	西川 明宏	松井 敏	一般社団法人金沢大学教育学部		
内潟 安子	釜土 良則	杉森 尚美	西田 和寛	松井 三郎	スズキ教育ソフト株式会社		
梅田 亮	川口 尚孝	杉山 曉弘	西田 敏雄	松井 ひろみ	株式会社庭建		
江岸 正子	川瀬 朝子	杉山 総一郎	西出 良一	松井 洋史	ナチュラルプロダクトリサーチ合同会社		
江野 学	川田 優理絵	関戸 省治	西本 茂戸造	松田 忠秋	ブライトライト株式会社		
遠藤 正典	川島 丈志	蘇原 博史	沼田 博幸	松田 知佳	北陸銀行 金沢大学卒業生の集い		
大川 哲平	川谷内 智子	高木 繁	苗加 充彦	松縄 宏	有限会社中川商事 ハートランドヒルズin能登		
大倉 潤一郎	木村 正宏	高田 敬輔	野川 文子	松林 博明	令和7年度入学宣誓式で寄附された方々		
大路 孝之	木村 洋子	高田 睦子	野田 久美子	松村 伸之	令和7年度学類入学者の父母等との懇談会で寄附された方々		
太田 秀樹	桐山 直泰	高橋 久照	橋本 外司雄	松本 剛一	令和7年度学位記・修了証書授与式で寄附された方々		
太田 史人	日下部 桂	田川 久之	長谷川 栄	松本 宏一	寄附金付自動販売機 寄附金を利用された方々		
太田 義興	久保 光夫	武林 玲子	畑 正幸	松本 昌邦			
大平 文人	窪田 昭男・由紀	館内 三郎	英 博幸	丸亀 勝昭			
大滝 初江	熊谷 篤司	立浪 毅	浜内 司	丸山 修			

[お問い合わせ先]

金沢大学基金・学友支援室

〒920-1192 金沢市角間町【本部棟5階】 TEL：076-264-5075

FAX：076-234-4010 E-mail：kikin@adm.kanazawa-u.ac.jp

[金沢大学基金 Web サイト] <https://kikin.adm.kanazawa-u.ac.jp/kikin/>

